

学費分納特別猶予願【後期】大学院

神戸学院大学学長 殿

【申請者】	提出日 年 月 日
	所属 研究科 専攻 年次
	学籍番号
	本人 氏名 印 ※学生本人の自筆、ゴム印・スタンプ印不可
【保証人】	保証人 氏名 印 ※保証人本人の自筆、ゴム印・スタンプ印不可

所定の期限までに分納の金額の納入が困難となりましたので、下記の通り特別猶予の許可をお願いいたします。

記

1. 特別猶予を願い出る理由を記述してください

※内容がわかりにくい場合は書き直しを求めることがあるため、家族状況、経済状況、未納金額納入計画などを具体的に記述すること

(理由)
(納入計画)

2. 以下の表を参考にし、猶予希望金額と猶予後の納入期限を記入してください

猶予希望金額	円 (分納回	回目分)	猶予後納入期限	年	月	日
--------	--------	------	---------	---	---	---

自分の研究科を確認し、該当する学費金額に○をつけてください

研究科	法 経済	人間文化 (人間・地域)	人間文化 (心理)	栄養	薬 食品薬品	総リハ (医療)	総リハ (社)
学費(半期分)	¥230,000	¥230,000	¥265,000	¥280,000	¥300,000	¥300,000	¥270,000

記入例

分納特別猶予

- ・申請者欄は学生本人が自筆で漏れなく記入
- ・保証人欄は保証人が自筆で漏れなく記入
- ・学生本人と保証人の印鑑は別のものを使用
- ・ゴム印・スタンプ印は不可

【申請者】	提出日	2017年 11月 20日		
	所属	法学	研究科	法学 専攻 2年次
	学籍番号	8123456		
	本人氏名	学院	花子	 <small>※学生本人の自筆、ゴム印・スタンプ印不可</small>
【保証人】	保証人氏名	学院	太郎	 <small>※保証人本人の自筆、ゴム印・スタンプ印不可</small>

所定の期限までに分納の金額の納入が困難となりましたの

1. 特別猶予願申請の理由を記述する

※内容がわかりにくい場合は書き直しを求めることがあり、
に記述すること

- ・納入計画は、学費をどのように支払うかわかるように記述
- ・猶予願の記入事項の訂正は、原則として二重線を引き、その線上に「申請者欄」や誓約の「本人欄」に使用した印鑑を押印（修正テープ・修正液は使用不可）
- ・誤字脱字注意

(理由) 1回目の分納は、奨学金とアルバイト代、親からの援助を合わせて支払いました。しかし11月から

卒業論文執筆で忙しくなり、アルバイトにあまり時間がさげなくなった上、研究活動で交通費などがかさみ、

2回目の分納の納入が困難になりました。そこで、今回の猶予願を申請するにいたしました。

(納入計画) 2回目の分納金は父のボーナスと祖父からの援助金を合わせて、1月4日までに納入します。また、私は

第二種奨学金を受給していますが、月50,000円から100,000円に増額しましたので、3回目の納入も可能です。
100,000円

2. 以下の表を参考にし、未納金額と納入期限を記入する

猶予希望金額	57,500 円 (分納回 2回目分)	猶予後納入期限	2018年 1月 4日
--------	---------------------	---------	-------------

自分の研究科を確認し、該当する学費金額に○をつけてください

研究科	法 経済	人間文化 (人間・地域)	人間文化 (心理)	栄養	薬 食品薬品	総リハ (医療)	総リハ (社)
学費(半期分)	¥230,000	¥230,000	¥265,000	¥280,000	¥300,000	¥300,000	¥270,000